

持続可能な
社会・環境に
「よい食」

「よい食」につながる国消国産

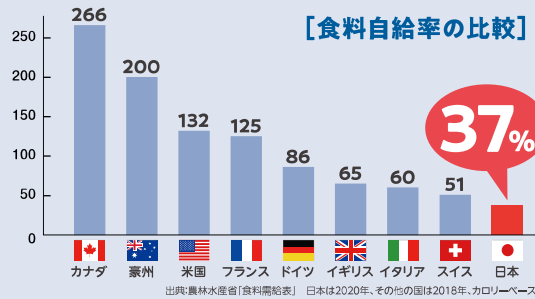
- 日本の食料自給率はわずか37%*。
いざという時、心配ないように、
食料自給率を向上させていくことが
大事です。それがみんなのよい食の
実現につながっていきます。

*農林水産省 2020年 カロリーベース

- JAグループは、「国」民が必要とし
「消」費する食料は、できるだけその
「国」で生「産」する…「国消国産」
の考え方を提唱しています。



- それは農業を支えることにもつながり
ます。農地には洪水や土砂崩れを防
いだり、環境や景観を守るなどの「多
面的機能」があります。農業を支える
ことは、日本の国土の安心や豊かさを
守ることにもつながります。



農業の多面的機能



農林水産省 (https://www.maff.go.jp/j/nousin/noukan/nougyc_kinou/img/zental02.jpg) の図を加工して作成

「林修先生と学ぶ国消国産」動画はこちらから。



「よい食」でSDGsの実現に貢献

- 世界の人口は2030年には約
85億人になると予想され*、
世界的な食料不足が心配な
状況といわれています。「よい
食」や「国消国産」をすすめる
ことは、食料を輸入に依存し
ないということにつながり、
それは持続可能な食料の生産
と農業の振興、そしてSDGsの
達成に貢献します。

*国際連合広報センター

- 地元のものを食べる「地産地
消」は、地域社会と農業を元
気にし、SDGsが目指す、住み
続けられるまちづくりの実現
や、「国消国産」をすすめるこ
とにもつながります。



JAグループとSDGsに
ついてはこちらから。



わたしのよい食は、みんなのよい食に、つながっている。

みんなのよい食 プロジェクト

自分と家族のために。農業と地域のために。
わたしたち一人ひとりにできる「よい食」があります。
それは、持続可能な社会や環境に
とっての「よい食」にもなります。
あなたも「よい食」
してみませんか？

わたしと
家族に
「よい食」

朝からしっかり食べて
一日を元気にスタート

よく噛んで食べて
体や脳の働きを活発に

栄養バランスを考えて
毎日健康な食生活を

楽しく手づくりで
食材への愛も深まる

「旬」のものを食べると
美味しく栄養たっぷり

料理を工夫して
食材をムダなく使う

農業と
地域に
「よい食」

ファーマーズマーケット
を利用して地産地消

国産の農畜産物を食べて
日本の農業を応援

農業体験などに参加して
農業の大切さを学ぶ

農業まつりなどに参加して
地域の食や文化を学ぶ

持続可能な
社会・環境に
「よい食」

食料自給率アップ
に貢献

海外からの輸送による
CO2排出を削減

食品ロスを削減

地域の活性化を実現

農業・農村の持つ
多面的機能を守る

飢餓ゼロの世界に
向けて貢献

みんなのよい食
プロジェクトを
応援しているよ。
よろしくね！



笑みちゃん
7歳・小学2年生
口ぐせは「バク！」
©みんなのよい食プロジェクト



「みんなのよい食プロジェクト」のサイトはこちらからご覧ください。

耕そう、大地と地域のまらい。



さあ今日から、わたしのよい食、はじめよう！

耕そう、大地と地域のまらい。

